

下水道公社だより



しずくちゃん

- うつくしま 未来へつなぐ 下水道 -



すいてきくん

2004年10月号

目次

- 『下水道まつり』を終えて
- 『平成16年度下水道排水設備工事責任技術者更新講習会』のご案内
- センターだより『県北浄化センター』
- 『快適生活下水道フォーラム』開催のお知らせ
- 市町村支援『普及啓発用資材』の貸し出しについて

『下水道まつり』を終えて

先月、当公社の4センター（県中、県北、あだたら、大滝根）において開催いたしました『下水道まつり』には、多くの方々にご来場いただきました。開催にあたりましてご協力いただいた県、関係市町村及び関係団体の皆様に、紙面を借りて御礼申し上げます。

【県北浄化センター】

「伸ばそう下水道」をテーマに、一般の方々へ下水道の大切さを学んでもらうための県北浄化センター「下水道まつり」が9月12日（日）に開催されました。

天候にも恵まれ、また今回の開催は日曜日ということもありまして、家族連れなど昨年を上回る7,300名の方々が訪れ、下水道クイズラリーやマス

のつかみ捕り、ウルトラマンダイナの握手会、ポッキーマサのクラウン・パフォーマンス&朝川ひろこライブ、

わんわんふれあいコーナー、ネイルアート・ボディアートコーナー、フリーマーケット、各種遊具、売店など子供連れで楽しめる内容で、一日ゆっくりと「下水道」とふれあうことができました。



【県中浄化センター】

県中浄化センターでは、去る9月11日、『環境と下水道』～水と笑顔が輝く未来へ～をテーマに下水道まつりを開催し、約6,000人の来場者が訪れ大盛況となりました。

来場者は、ミニバックホウの運転、下水の浄化観察などの参加型体験コーナーやステージイベント、遊具等で賑わいをみせ楽しい一時を過ごしていました。また、施設を一般開放した下水道クイズスタンプラリーや矢吹町で話題の下水戦隊スイセンジャーで、下水道の役割について楽しみながら理解を深めました。

昨年から実施している下水道ポスターコンクールでは多くの応募があり、優秀作品の展示と入賞者の表彰式を行いました。

また、今回はラジオで祭りの中継や環境と下水道について放送し、会場に来られなかった方達にも下水道について関心を持っていただけました。



【あだたら清流センター】

去る9月11日(土)にあだたら清流センター「水・環境」フェスティバルを開催しました。

当日は、あいにくの曇り空のもとでしたが、2,500人の方々が来場され、めぐりめぐって流れる水循環を意味する『水の廻流』のテーマをもとに、アマチュアバンドやプロの歌手のステージ、ラジオの生放送など、種々の催しを展開しました。

なかでも、二本松の霞ヶ城と二本松の城下町をイメージした通りには、たくさんの方々が行き交い、賑わいを見せていました。



来場者の方々には、イベントを通してあだたら清流センターをより身近に感じていただけたことと思います。

【大滝根水環境センター】

今年4月に供用開始した大滝根水環境センターでは、「くらしと下水道」をテーマに初めての下水道まつりを9月18日に開催し、約2,900人の来場者が訪れました。

来場者は、一般開放された下水道施設を見学できるクイズスタンプラリーやミニバックホウの運転などを体験したり、管理棟内の水質浄化観察や下水道ポスターコンクール全応募作品の展示などの各コーナーを巡ることで、楽しみながら下水道の役割と下水道への関心を深めていました。

また模擬店やフリーマーケット、各種遊具等でも賑わいを見せ、楽しいひとときを過ごし、ステージイベントでは「下水道」ポスターコンクール表彰式を始め、楽器の演奏や太鼓・踊りの実演等によりまつりを盛り上げ、盛んな拍手や歓声が響き渡りました。



『平成16年度下水道排水設備工事責任技術者更新講習会』のご案内

(財)福島県下水道公社認定による下水道排水設備工事責任技術者登録の有効期間は5年間であるため、登録期間満了後、引き続き登録を受けるときは、技能・技術の維持及び最新技術の習得等を目的とする更新講習を受講し、登録の更新を受けなければなりません。

今回の更新対象者は、平成11年度の認定試験合格者及び同年度の更新講習を受講した更新登録者の2,066名の責任技術者が対象となっております。(責任技術者証の登録番号が11-)

なお、平成16年度の更新講習会は、下記により開催する予定です。

1. 申し込み方法

更新対象の方へ、11月下旬に当公社から「更新講習会受講申込書」及び「責任技術者登録申請書(更新)」を直接送付します。



2. 受付期間

12月1日(水)から12月31日(金)(消印有効)まで、「受講申込書」及び「登録申請書(更新)」に必要事項を記入して、当公社へ提出してください。

なお、この期間を過ぎると原則として受講不可となり、従って更新登録をすることができなくなり、資格が失効することとなりますのでご注意ください。

3. 開催日程

月 日	対象方部	場 所
2月 7日(月)	県中・県南	郡山市・ビッグパレットふくしま
2月 9日(水)	県 北	福島市・パルセ飯坂
2月14日(月)	相 双	原町市・ロイヤルホテル丸屋
2月15日(火)	いわき	いわき市・パレスいわや
2月17日(木)	会 津	会津若松市・会津平安閣
2月22日(火)	県 北	福島市・パルセ飯坂
2月24日(木)	県中・県南	郡山市・ビッグパレットふくしま

センターだより『県北浄化センター』

下水道公社のビックイベントである「下水道まつり」も大盛況に終了し、ほっと一息というところではありますが、センターの仕事は365日、まだまだ気を緩めることは出来ません。

さて、今年の夏は猛暑で、初夏に日本を襲う台風が多かった夏でありましたが、県北浄化センターは被害もなく、無事過ごすことが出来ました。現在周辺は特産の桃の収穫も終わり、稲刈りシーズンに入っているところで、豊作を期待する今日この頃です。

センターにある修景施設の木々は、ハナミズキが赤い実を付け、今はオレンジ色のナナカマドの実は、雪の降り始める頃には赤く色づきとても綺麗な色合いを見せます。秋を感じさせる光景がだんだんとセンター内に広がっています。



当センターの現在の平均下水流入量は1日当たり約22,000m³で、8月末現在の累計接続世帯数は、36,985世帯(福島市31,749世帯・桑折町923世帯・伊達町761世帯・国見町1,235世帯・梁川町1,288世帯・保原町1,029世帯)で順調に下水道が普及しているところです。

下水道は、「快適な暮らしを見守る」、「浸水から街を守る」、「地球環境を守る」と私たちの暮らしを“縁の下”で支えているといえます。「暮らし～下水道～自然環境」は、ひとつの管で結ばれています。

消化に悪いものを食べると、おなかをこわしますよね？下水道も一緒です。

下水管に流されては困るもの(油・紙おむつ・水に溶けにくいティッシュ等)があります。もし、下水道がおなかをこわしたら？その時は大変です。暮らしの中から流れ出た汚水が処理されずに川や海に流れ出てしまうのですから…。私たちの豊かな生活環境のために、地球の未来のためにも、皆様の御理解と御協力が必要不可欠なのです。

当センターでは前記の環境維持のため、職員が一丸となって、「もう一度見直そう それはあなたが鍵です」をテーマに水処理の安定化・放流水質の確保に日々努力しているところです。



『快適生活下水道フォーラム』開催のお知らせ

来る平成 16 年 11 月 14 日(日)に福島県及び福島県下水道公社の主催により、福島駅西口「コラッセふくしま」にて「くらしと下水道」～快適なくらしに欠かせない下水道と水環境について考える～をテーマに『快適生活下水道フォーラム』を開催いたします。

近年、私たちを取り巻く水環境は大きく変化しています。河川水質の悪化や湖沼等閉鎖性水域の富栄養化が進行し、ふるさとのせせらぎや安らぎの水辺は失われつつあります。そして、その主な原因は生活排水であるといわれています。

このフォーラムは、自然界の水循環や、ライフスタイルと水環境の関係など、私たちが毎日何気なく使っている「水」、特に「下水・下水道」についてスポットを当て、一般県民の水環境に対する関心を高め、下水道整備促進の機運高揚や、接続率の向上を図ることを目的として実施するものです。

入場は無料となっておりますので、皆様の多数のご来場をお待ちしております。



市町村支援『普及啓発用資材』の貸し出しについて

前号(7月号)でご報告しましたとおり、当公社では県及び市町村が行う普及啓発事業に対する連携・支援の強化を図ることを目的の一つとして、本年6月29日に「下水道普及啓発実行連絡委員会」を設立し、現在までに2度の討議をいただいております。

その中で実施した「普及啓発活動支援事業に係るアンケート」調査の結果、見学者等への説明用器材の不足、また、そのことに対応するための公社による「貸し出し事業」への潜在的需要があることを確認いたしました。

そこで当公社では、この要望に応えるべく『普及啓発に係るビデオテープ等貸し出し事業』を行うことといたしました。

貸し出し申し込みの方法等詳細につきましては、公社企画管理課までお問い合わせください。

財団法人 福島県下水道公社

〒960-8103 福島市舟場町2番1号 福島県庁舟場町分館3F

TEL 024-524-3510(代)

FAX 024-524-3513

Homepage:<http://www.fspc.or.jp>

E-mail:kikakukanri@fspc.or.jp

本誌の発行については、業務部企画管理課までお問い合わせください。